

編集発行責任者 伊藤 洋

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111(代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

E-mail:aotokouhou@jikei.ac.jp

INDEX

01. ご挨拶
02. FAX予約をご利用ください ~受診の待ち時間短縮のために~
03. 『慈恵大学病院の美味しい大麦レシピ』が発売されました
04. 公開セミナーのご案内、フロアコンサート、編集後記

ご挨拶



副院長 吉田 和彦

「葛飾医療センター」として生まれ変わって早3年3ヶ月、皆様のご支援もあり、その運営は順調に推移しております。

現在、建築が進められている別館は、延べ床面積約900㎡、1階は放射線治療施設、2階は外来化学療法室（現状の12床から18床に増床）、3階は職員と学生を対象とした会議室と実習室が設置されます。本年7月に竣工予定で、12月から稼働開始予定です。放射線治療装置としては、エレクタ社の最新鋭機器であるインフィニティの導入が予定されております。インフィニティは第7世代のデジタルテクノロジーを搭載した完全統合型放射線治療システムで、定位放射線治療や強度偏重放射線治療にも対応しています。乳がん、直腸がん、食道がん、肺がん、肝臓がん、骨転移など、幅広い適応が期待されます。

葛飾医療センターは4年目を迎え、がんに対する治療を成長戦略の一つにかかげ、更なる飛躍を目指します。一方で、リニューアルの際に掲げた「地域と共生し、進化・創造し続ける病院」という初心を忘れずに、引き続き安全で質の高い医療を提供する所存です。

今後とも葛飾医療センターへの更なるご指導、ご鞭撻のほど、お願いいたします。

前「青戸病院」から現「葛飾医療センター」に名称変更して4年目を迎えます。ここになって、ようやくこの名称が、内外に定着してきたように感じます。当センターは大学病院としての専門診療を行いながら、地域病院として、近隣の医療ニーズに答えるべく、救急対応を含めた診療依頼を広く受け止める使命があります。その一方で、当院は大学病院の分院のひとつであり、病院教職員は、毎年多くが病院間で移動があります。たとえば医師では、旧病院から移動がなく勤務しているのは、全体のおよそ3割ほどです。ある時に、地域の先生方からのお話をうかがうと、地域の医療要請に十分に答えきれていないとの、厳しい指摘を受けることがありました。診療受入れ体制が十分機能していないこと、当センターのあるべき姿の周知が徹底されていないことなどが挙げられ、ただちに教職員一同、猛省の上、見直しをおこないました。今後さらに地域の皆様方の要望に答えられるよう、努力を継続していきたいと思えます。



副院長 児島 章

FAX予約をご利用ください～受診の待ち時間短縮のために～

一般的に病院は待ち時間が長い、という印象を持っている方もいらっしゃると思います。病院はなぜ待ち時間が長いのでしょうか?原因は様々であり、複合的に絡んでいます。

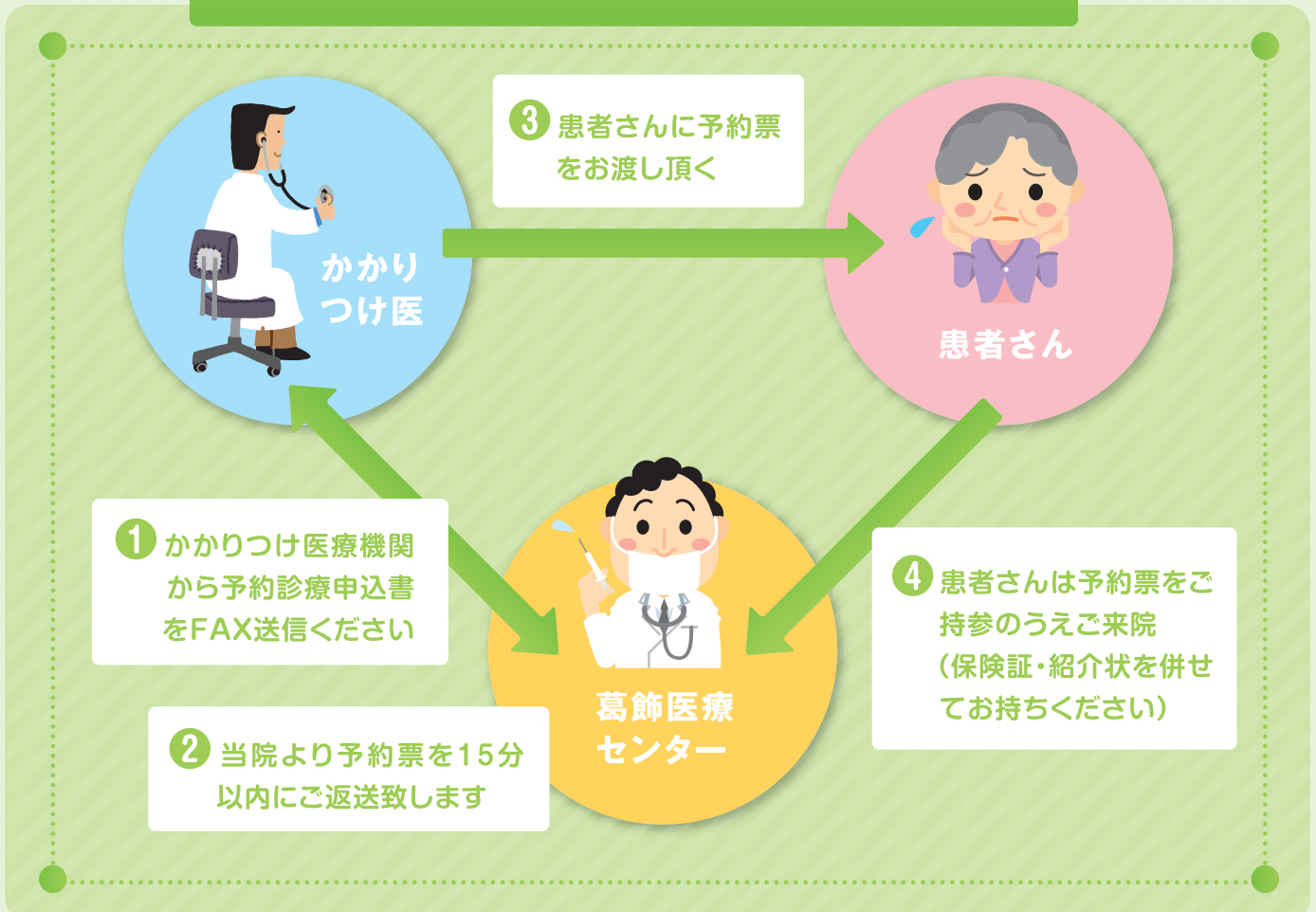
当院では解決策の1つとして、初診の方でもご利用頂ける「FAX予約システム」を運用してまいりました。また、平成27年3月より、FAX予約システムでご予約頂いた患者さんの受付窓口を、初診受付を通らず直接外来ブロック受付へと変更し、受付手続きを簡素化することにより、待ち時間の短縮を図っています。

FAX予約システムはかかりつけの先生からお申込み頂くことが必須ですが、かかりつけの先生に紹介状を書いて頂くことで診察内容や治療等のスケジュール、料金に対する患者さんのメリット(同じ検査をせずに済み、保険外併用療養費のご請求もありません)も多数ございます。

是非、先生方はじめ患者さんも当院の「FAX予約システム」を積極的にご利用頂きたいお願い申し上げます。FAX予約受付窓口は入退院・医療連携センター医療連携部門が担当しております。(入退院・医療連携センター)

当院は初診の方もかかりつけ医の先生から診察予約をお受けすることができます。
FAX予約システムをどうぞご活用ください。

【FAX予約システムのお申し込みの流れ】



『慈恵大学病院のおいしい大麦レシピ』が発売されました

脚

気の撲滅に多大な功績をしたのが慈恵大学病院の創始者である高木兼寛医師です。

江戸では、「江戸患い」と呼ばれるほどに流行した病で、死に至る可能性がある原因不明の難病として社会問題になるほどでした。脚気はビタミンB1欠乏症の1種で、心不全と末梢神経障害が起こり、むくみやしびれの症状が出ます。

高木医師は、英国では見られなかった脚気が日本に多いことに着目し、和食、特に「白米」に原因があるのではないかと考えました。この説を証明するために、当時、海軍軍医であった高木医師は、軍艦筑波の乗組員に「白米」ではなく「大麦混合食(麦めし)」を提供し、脚気が栄養面の問題で生じる病であると証明しました。

大麦は第6の栄養素といわれる食物繊維が豊富に含まれており、糖尿病予防やコレステロールの低減などに期待される食品のひとつです。私たちは、高木医師の偉大な功績を学ぶと共に、大麦の美味しさを広く伝えていく使命があると思っております。

大麦をご飯に混ぜて炊くだけではなく、いろいろな料理に取り入れ、毎日続けて食べることができます。4機関栄養部職員全員の知恵と工夫、そして愛情が入った美味しい大麦レシピです。ぜひ、おいしく召し上がってください。

このレシピが皆様の健康の一助となることを願っております。(栄養部 課長 湯浅 愛)



好評発売中

価格: **1,400**円(税抜)

販売場所

- ① 慈恵大学附属各病院の売店
- ② 全国の書店
- ③ Amazon、楽天等のECサイト



公開セミナーのご案内

①日時：平成27年6月13日（土）14:00～15:30

（13:00開場・整理券配布開始）※従来の時間より変更となりました。

②会場：東京慈恵医科大学葛飾医療センター 5階 講堂

③テーマ：～知ってますか？～「新たな国民病、知らないと怖い慢性腎臓病について」

④司会：総合内科 診療部長 根本 昌実

⑤挨拶：葛飾区医師会 会長 石川 辰雄

⑥演者・演題：1) 腎臓・高血圧内科 診療部長 池田 雅人
～知ってますか？～

「新たな国民病、知らないと怖い慢性腎臓病について」

2) 栄養部 課長 湯浅 愛

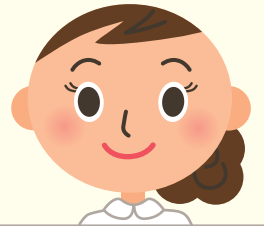
「今日から実践、腎臓を守り、元気で長生きするための食事」

⑦後援：（一社）葛飾区医師会

後援・協賛：葛飾区、東京慈恵会医科大学同窓会

⑧参加費：無料

⑨定員：先着150名 ※定員を満了した時点で受付終了となります



開場・整理券配布時間が
変更になりました。
会場前での待機は
出来ませんので、
ご了承ください。



フロアコンサート



葛飾医療センターでは、来院されるすべての患者さんの癒しを目的とした患者サービスの一環として、ボランティアによるフロアコンサートを行なっております。

平成27年2月21日（土）当センター1階正面玄関フロアにおいて、平成26年度のフロアコンサートを開催いたしました。従来はピアノ演奏が多いですが、今回は趣向を変え、ジャズアレンジ曲をピアノ・クラリネット・ウッドベース・ドラムのバンド形式で演奏頂きました。多くの患者さん、スタッフにお集まり頂き大変好評を得ることができました。

引き続き、皆さんに喜んでいただけるフロアコンサートを企画して参りますので、ぜひご参加下さい。（管理課）

編集後記

当院が4年目を迎えるとともに私自身も本紙を担当して4年が経ちます。当院のアピールだけではなく、患者さん、先生方、地域の皆さまに有益となる情報を厳選して発信して参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

（入退院・医療連携センター）